

令和6年長浜市議会定例会

令和6年12月定例月議会^{ていれいづきぎかい}

閉会あいさつ

令和6年12月18日

長浜市議会定例会 令和6年12月定例会月議会の閉会にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本定例会では、補正予算や条例改正などの諸議案につきまして、議員の皆様にご慎重かつ熱心にご審議を賜り、いずれも原案どおりご議決・ご承認を賜りましたこと、厚くお礼を申し上げます。

それでは、閉会にあたり、諸般のご報告をさせていただきます。

(1年の振り返り)

本年を振り返りますと、日本が世界に誇る多くの躍進に沸いた一年でした。パリオリンピックでは、日本選手団が過去最多となるメダルを獲得し、大谷翔平選手がアメリカ・メジャーリーグで前人未踏の記録を打ち立てるなど、私たちに大きな感動と勇気を与えてくれました。

一方で、石川県能登地方を震源とする大地震や豪雨災害、南海トラフ地震に関する初の臨時情報の発令、記録的な猛暑、物価高騰など、さまざまな困難にも直面した一年でもありました。これらの出来事は、地域社会の絆

の大切さや、共に支え合いながら未来を切り拓くことの重要性を改めて私たちに教えてくれたと感じております。

（本市の取組）

本市におきましても、市民の皆様や地域の多様な力を結集し、これまでから挑戦し続けているまちづくりをさらに推進した一年でした。

特に、若者たちの積極的な活動が印象に残っています。若者が主体となり新たなまちの賑わいを創造した「LINK UP FESTA」、斬新なアイデアと伝統的な着物文化を融合させた「長浜 kimono AWARDS」、脱炭素をテーマに地域住民と一体となった「西浅井ちょうちん祭り」、さらには、複数のプロジェクトによって地域の活性化やまちなかエリアの賑わい創出を目指した「まちの文化祭」など、市内各地で若者たちの挑戦が成果を上げ、地域に新たな魅力をもたらしました。

また、地域や事業者の皆様のご協力により、移動販売車による買い物支援の地域拡大（余呉・上草野の2か所

から伊香具、びわ、西黒田等9か所へ)や、デマンドタクシーの利便性向上に向けた移動支援の実証実験など、生活を支える取組も進展いたしました。これらの取組は、住みやすく活力のあるまちを実現する大きな一歩と考えております。

さらに、長浜バイオ大学における産官学連携の取組として、「産学連携人材育成コンソーシアム」が設立されました。

この取組は、令和4年5月に関西文理総合学園から公立大学化を含む包括的改革の提案がなされて以降、大学と本市が一体となり、大学のあり方について検討を重ねる中で生まれたものです。昨年度には「大学改革検討チーム」を設置し、議論を深めてまいりました。

地域や企業にとりましても、若者が集う大学への期待はかつてないほど高まっており、その存在意義はますます大きくなっています。大学、企業、地域が力を合わせ、新しい大学モデルを創り上げることで、少子化時代においても地域が持続的に発展できるよう全力で取り組ん

でまいります。

また、このコンソーシアムは南長浜地域で進める産業用地開発事業との連携が不可欠であり、地域資源を活用した新たな産業基盤の創出が期待されます。市としても、県との連携をさらに強化し、湖北地域全体の発展につながる取組を進めてまいります。

これに対し、市内北部の地域振興につきましては、地域固有の資源や特性を活かした独自の施策が重要であると認識しています。今年度は、大見いこいの広場やウッディパル余呉をはじめとする北部地域の施設等の活用や開発について、検討段階のものも含めいくつかの施策を進めてまいりました。こうした取組は、地域の自立的な発展を支えるものであり、北部地域の特色を活かしたまちづくりにおいて重要な役割を果たすものと考えております。今後も地域の皆様のご意見を伺いながら、開かれたシビックプライドを醸成しつつ、具体的な成果を目指して進めてまいります。

(市立病院の経営課題)

次に、市立2病院の経営状況について、改めてご報告申し上げます。

市立2病院は、令和6年度の経常損益が過去最大の赤字となる見込みであり、令和7年度から令和8年度には資金ショートに陥るといふ、極めて危機的な状況に直面しています。

また既に公表しているとおり、令和5年8月に策定した長浜市財政計画では、基金残高が令和15年度には現行の半分程度である177億円まで減少する見通しです。仮に、病院に対し、今年度の赤字見込みに相当する24億円を毎年支援する事態となれば、基金は急速に減少し、令和15年度には枯渇する恐れがあります。このような事態に陥れば、予算を組むことが困難を極め、福祉や教育をはじめとする市民サービスやインフラ整備に必要な財源を確保することが難しくなり、市民生活全体に深刻な影響を及ぼします。

今回、決算や現金の見通しが明らかになったことにより、病院再編をめぐる状況は大きく変化しました。病院

経営が成り立つという前提が著しく揺らぐ、まさに緊急事態に直面しております。この危機的な状況を受け、病院再編については、市立病院の規模やあり方を含めた再検討が必要であると認識しています。その際、次の2点を特に重視して取り組む必要があります。

1つ目は、市民生活への影響を最も小さくできる病院の規模やあり方を模索すること。

2つ目は、湖北地域の医療を維持するための再編を進めることです。

これらのバランスの取れた最適な答えを早急に見出すため、まずは危機的な状況にある病院事業において、高折病院事業管理者のもと、抜本的な経営改善策の早急な検討を進めます。

また、市としましても、市立病院の規模やあり方、病院再編等について、広く英知を結集しながら、市と病院事業が全面的に協力し、具体的な検討をスピード感をもって進めてまいります。

現在、病院経営や市政が大きな転換点を迎えておりま

す。持続可能な市立2病院のあり方と市の財政負担などについて、様々なご意見を伺いつつ、迅速かつ丁寧に検討してまいります。

今後、市民の皆さんの命と健康を守るため、長浜市全体が一丸となり、この難局を乗り越えていく必要があると考えております。市議会および長浜市民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(結び)

最後に、今年も残すところあと13日となりました。議員の皆様におかれましては、本市の行く先を共に考え、様々な場面で多大なるご尽力を賜りましたことに対し、改めて敬意を表するものでございます。

ご健勝にて輝かしい新年をお迎えくださいますよう、また、令和7年が長浜市にとりまして、ますますの発展につながり、明るい年になりますよう、心からご祈念を申しあげまして、お礼のご挨拶といたします。

本年、誠にありがとうございました。